

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】地域密着型の特性を生かした理念を職員が共有できる。					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所には別にグループホームの理念を地域密着型の考えを入れて職員が共有する	グループホームの理念が慣れた地域で家庭的な環境の下、利用者さんの有する能力に応じた自立した生活を支援する	グループホーム内に理念を掲示して職員が常に目にして共有できる。	6ヶ月
2	2	町内会との交流や、ボランティアの導入ができていない	コロナウイルスが落ち着いたら町内会の行事等に参加していく	5月に施設合同での避難訓練を行うと共に、グループホームの運営推進会議に参加して、一緒に参加して頂く	12ヶ月
3	26	現在のサービス計画はADLを中心に考えて作成されている。QOLを向上させるサービス計画にする(本人が望む生活)	利用者さんの要望を聞き取り、楽しく生活ができるようなサービス計画にしていく	利用者さんの得意な事を行って楽しむ計画を作成する。 農家をしていた利用者さんが多いので土に触れる機会を設ける	6ヶ月
4	10	事業所内に苦情や要望などを受ける意見箱を設置していない	要望と苦情箱を事業所に設置する。	事業所の玄関に設置	1ヶ月
5	35	消防署直ち合ひでの避難訓練ができていない	5月に施設合同での避難訓練を実施予定	R3.5.27 14:00~全事業所合同での避難訓練を実施予定で、区長さんと民生員さんにも参加していた予定	3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。